

トレーニング事前環境構築手順書

本書は、はじめての IBM Bob 受講にあたって受講者各自の PC で事前に準備していただく環境について記載しています。トレーニング実施日までに本書に従って環境構築を完了してください。

1. 本書の目的と対象

- ・ **目的:** トレーニング当日にスムーズに演習を開始できるよう、必要な環境を事前に構築いただく
- ・ **対象読者:** トレーニング受講者、および受講者所属企業の情報システム部門ご担当者
- ・ **準備完了の目安:** トレーニング実施日の **3 営業日前まで**

トレーニング当日に環境構築から開始する場合、演習時間が不足したり、一部演習が実施できない可能性があります。必ず事前にご準備ください。

なお、本書に登場するすべてのコマンドは Windows のコマンドプロンプトで実行する前提で記載しています。

2. 必要環境チェックリスト

トレーニング当日までに、以下の項目がすべて満たされている状態にしてください。

- ☐ **IBM Bob:** インストール済みで、チャットで会話ができること（確認: §3.1 / 構築手順: 本書では扱いません）
- ☐ **Python:** 3.11.x がインストール済みで使えること（確認: §3.2 / 構築手順: §4）
- ☐ **Git:** インストール済みであること（確認: §3.3 / 構築手順: §5）
- ☐ **トレーニング用プロジェクト:** プロジェクトフォルダ bob-hands-on が git clone 済みで、IBM Bob でそのフォルダを開けること（確認: §3.4 / 構築手順: 確認手順内に含む）
- ☐ **依存パッケージ:** bob-hands-on プロジェクトで pip install -r requirements.txt が完了していること（確認: §3.5 / 構築手順: 確認手順内に含む）
- ☐ **ネットワーク (SSH):** トレーニング当日、SSH で弊社指定のグローバル IP に接続でき

ること（確認・構築手順とも本書では扱いません）

□ **ネットワーク（インターネット接続）**：トレーニング当日、インターネットに接続できること（確認・構築手順とも本書では扱いません）

3. チェックリスト確認手順

本章は、**受講者の PC がトレーニングを実施できる状態かを確認するための手順**です。各項目を順に確認し、期待する結果にならなかった場合は §4 の該当節を実施してから、再度本章に戻って確認してください。

3.1 IBM Bob の確認

IBM Bob を起動し、**AI とチャットで会話のやり取りができる**ことを確認してください。

以降の確認は、**Windows のコマンドプロンプト**を起動して行います。

3.2 Python 3.11 の確認

コマンドプロンプトで以下を実行してください。

```
py -3.11 --version
```

- ・ **期待する結果**: Python 3.11.x が表示される
- ・ `py -3.11` が使えない場合でも、以下のコマンドで Python 3.11.x が表示されるなら OK です

```
python --version
```

- ・ NG の場合: **§4.1 Python 3.11 のインストール** を実施

3.3 Git の確認

コマンドプロンプトで以下を実行してください。

```
git --version
```

- ・ **期待する結果:** Git のバージョンが表示される
- ・ NG の場合: §4.2 Git のインストール を実施

3.4 プロジェクトフォルダの取得と確認

トレーニング用プロジェクトフォルダ `bob-hands-on` を `git clone` で取得し、フォルダが正しく作成されていることを確認します。

1. カレントディレクトリがプロジェクトを配置したいフォルダになっているかを確認します。

```
cd
```

- ・ 異なる場所が表示された場合は、正しいフォルダに移動し直してください（この後の `git clone` はカレントディレクトリ直下に `bob-hands-on` フォルダを作成します）
2. 配置先で問題なければ、以下のコマンドでクローンします。

```
git clone https://github.com/heyho99/bob-hands-on.git
```

3. `bob-hands-on` フォルダ（プロジェクトルート）に移動します。

```
cd bob-hands-on
```

- ・ **期待する結果:** プロンプトのパス表示が `...¥bob-hands-on>` に変わる
4. クローンしたリポジトリを IBM Bob で開けることを確認します。
 - ・ IBM Bob を開き、画面左上のメニューから **File > Open folder** を選択します。
 - ・ 配布された **bob-hands-on** フォルダを選択し、開ければ OK です。

3.5 仮想環境(venv)と依存パッケージの確認

`bob-hands-on` フォルダに移動し、カレントディレクトリがプロジェクトルートになっていることを確認してから、以下を実行してください。

```
py -3.11 -m venv venv
```

```
venv¥Scripts¥activate  
  
pip install -r requirements.txt
```

- ・ **期待する結果:**
 - ・ プロンプト先頭に (venv) と表示される
 - ・ pip install がエラーなく完了する

3.6 アプリの動作確認

venv を有効化した状態で以下を実行してください。

```
python app.py
```

以下のような出力が表示され、ブラウザで `http://localhost:5000` にアクセスしてメモアプリ画面が表示されれば成功です。

```
* Running on http://127.0.0.1:5000
```

3.7 終了処理

確認作業が完了したら、以下の順で終了してください。

1. アプリの停止: コマンドプロンプト上で `Ctrl + C` を押して `app.py` を停止
2. venv を抜ける:

```
deactivate
```

- ・ プロンプトの (venv) 表示が消えれば OK
3. コマンドプロンプトを閉じる（ウィンドウの × ボタン、または以下のコマンド）

```
exit
```

4. Python 3.11 の環境構築手順（§3 で不備があった場合のみ実施）

本手順はサンプルです。すでに pyenv / Anaconda / uv 等で Python を管理されている場合は、ご自身の方法で **Python 3.11.x が使える状態**にしていただければ構いません。最終的に §3.2 の確認が OK になることだけご確認ください。

1. winget でインストール

```
winget install --id Python.Python.3.11 -e
```

2. コマンドプロンプトを一度閉じ、新しく開き直してインストール結果を確認（PATH の反映のため、開き直しが必要です）

```
py -3.11 --version
```

- Python 3.11.x が表示されれば OK です。

5. Git の環境構築手順（§3 で不備があった場合のみ実施）

1. winget でインストール

```
winget install --id Git.Git -e
```

2. コマンドプロンプトを一度閉じ、新しく開き直して確認

```
git --version
```